



自己紹介

大淵由貴（おおぶちゆき）1988年東京都江戸川区出身。千葉大学法経学部総合政策学科卒。大学時代は環境NGOの活動に従事、また休学してバンクーバーでワーホリを経験。卒業後、電機メーカーで5年間営業を勤め、会社を退職して青年海外協力隊としてマダガスカルで活動中。

多発する盗難

ここ最近、近所で盗難の話は何件か聞きました。コピー屋のパソコン、商店の油、収穫直前の豆、食肉になる直前の豚。私もこの国で盗難に合いました。買い戻せるモノとは言え悔しくショックを引きずり…。けれど、マダガスカルの人々は「悲しいね」と言ってあっさり次に進んでいく印象。生活へのダメージは決して小さくないはずですが、したたかに前進していく彼らを見習わなければと思いました。



灌漑設備の記念式典

～仏の支援でできました～

先日、お隣のアンブンガマリナ市に新しくできた**灌漑設備の記念式典**(①)に同僚と参加しました。四駆で2時間ほど揺られながら、アンズズルベよりもさらに田舎へ。まずは灌漑設備の前で**テープカット**(②)。マダガスカル国旗カラーのテープを首都から来た上院議員、県のトップ、郡職員、市長がカットします。**カットしたテープはさらに細かく切って**(③)分けて、皆で持って帰ります。私も少しだけいただきました。炎天下の演説では、演説者のために**傘で日陰**



を作っていました。(④)（日本では見かけない光景ですね。）フランス政府の支援が入っているため式典にはフランス大使館職員が3名出席していました。そして式典後の食事会では、首

都から運んできた食材を使って、首都から来た料理人がフランス料理を調理して提供してくれました。せっかく田舎に来たのに…と私は思っていますが、外国人にはこうやってもてなすのが、こちらの文化なのだと思います。



JICAプロジェクトの勉強会 ～連携の探求～

米の生産性向上を目指すJICAプロジェクトの専門家をお招きし、勉強会を実施しました。私を含め農業関係の行政機関に配属されている隊員は全員、農業の技術的なバックグラウンドがありません。「技術」と聞くとアレルギー反応が起こる私ですが（前の職場で営業していた時は、技術者の人に任せっぱなしでした…）、一緒に活動している農家さんも取り組んでいるプロジェクト。自分の活動との**相乗効果の可能性**を求めて勉強会に参加しました。細かい技術の話には踏み込まず、**ポイントになる技術、技術の普及方法**について詳しくお話いただき、とても分かりやすくまとめていただきました。普及のための農民向け研修があるので、人が集まるタイミングで私が取り組んでいる生活改善活動を載せられないか考え中です。またプロジェクトではありませんが、レンガだけでできる「**ロケットストーブ**(⑤)」のデモをしていただきました。どんなマダガスカル料理に合うか模索中です。

